

標題 | 農事組合法人すがや収穫祭開催！ ～地域へ島根県知事からエール～

(ダイジェスト)

11月23日、雲南市吉田町にて、農事組合法人すがやの10回目となる収穫祭が盛大に開催されました。本法人は水稲のみならず、園芸の少量多品目栽培や農産物加工販売など幅広い活動により集落を維持してきました。収穫祭では創立10周年にあたり、丸山知事も駆けつけ激励の言葉を述べられました。

11月23日、雲南市吉田町菅谷地区を中心に集落営農を行う農事組合法人すがやの10回目となる収穫祭が盛大に開催されました。来賓、関係機関、地元組合員合わせて100名以上の参加がありました。

この度、(農)すがや設立10周年にあたり、収穫祭には島根県の丸山達也知事も出席され、農業を通じて集落維持に努める本法人へ激励の言葉を述べられました。

本法人は、平成22年に構成員28名、水田面積18haで設立して以来、年々面積を拡大させ、25ha以上まで増加しました。水稲採種をはじめ、ハデ干し米などこだわりの米づくり、独自商品開発、販売まで実践されています。また、水稲のほかにアムスメロン、アスパラガス、ピーマンなど園芸品目の導入により多角化を進めてきました。これにより、法人の経営強化だけでなく地域の女性や高齢者の雇用の場を創出するなど、集落をみんなで守る特徴ある取り組みを展開してきました。



↑丸山知事によるあいさつの様子



↑収穫祭の様子

さらに、昨年度からほ場整備に合わせて新たに水田園芸の取り組みとして、雲南管内にていち早く水田での玉ねぎ栽培を挑戦されています。また、今年度から島根県独自のGAP認証である美味しまね認証取得に向けても取り組まれているところです。

農業普及部では、本法人の幅広い取り組みに対して関係機関と一体となって、補助奨励事業や普及活動を通じて引き続き支援していくこととしています。